

### 平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どもたちが触れる細石器文化ガイドブック作成事業
事業主体 (連絡先)	南牧村 (南牧村教育委員会 TEL0267-96-2104)
事業区分	(3) 教育、文化、スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	834,103円 (うち支援金: 662,000円)

#### 事業内容

国の史跡に指定されている細石器文化遺跡、矢出川遺跡の小中学生向けガイドブックを作成した。小学6年生には、ワークショップを行い細石器文化の学習と、黒曜石から細石器を作る体験学習を通じて、地域の貴重な遺産に興味を持ってもらえた。また旧石器時代への疑問や質問を出してもらい、ガイドブック編纂に反映させた。



【体験学習】

#### 【目標・ねらい】

- ①地域の大切な遺産を知ること
- ②子供感覚の疑問を聞きたい
- ③学問的な意義も知らせたい

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①矢出川遺跡については、村民俗資料館の社会見学で訪れて子どもたちは知っていたが、講師からの細石器文化の説明で改めて遺産の価値が理解できた。黒曜石が八ヶ岳周辺だけでなく、各地から来ていることに驚いていた。
- ②各小学校2時限を使ったが、休憩時間を取らないほど関心が高かった。質問もレベルが高く、項目も多方面に多くガイドブックには一部掲載した。
- ③ガイドブックなので、平易な内容、記載に留意したが、学問的な説明も可能な限り掲載した。

※自己評価 【 A 】

#### 【理由】

子どもたちの関心が高まった。初めて平易な内容のガイドブックができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

美術民俗資料館を訪れる小中学生向けに、このガイドブックや細石器展示を手掛かりにして回答できるような「矢出川遺跡群クイズ」を、村の小中学生に毎年作ってもらい、ふるさと学習の一環として定着させたい。林間学校利用児童生徒のオリエンテーション・ポイントとして活用するよう働きかけている。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある